

地域ブランドシンポジウム in 福島 を開催



平成 25 年 3 月 22 日にホテル福島グリーンパレスにおいて、日本弁理士会主催「地域ブランドシンポジウム in 福島」を開催し、50名超の参加があった。富士宮やきそば学会 会長 渡邊英彦による基調講演では、同氏が富士宮やきそばの成功事例を紹介。地域ブランドの保護と活用について解説を行った他、当会が商標出願等で支援を進めている「なみえ焼そば」について、そのブランド化をテーマとしたパネルディスカッションを行った。



奥山会長は、開会挨拶のなかで、「復興とは、元の姿に戻すのではなく、進化した形の町を作ることだとも言われている。このシンポジウムが、復興の先にある、未来志向の町づくりのモデルの一助となることを祈念する。」と述べた。

パネルディスカッションのモデレータは、福島出身の佐藤辰彦弁理士が務めた。

4名のパネラーからは、ブランド化に向けた新たな構想が提案された。

